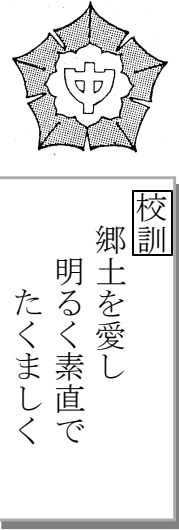


新潮流



校訓

郷土を愛し
明るく素直で
たくましく

文責：校長 川内康範

「勉強の秋」に向けて

3年生は実力テストを終え、ちよつとほつとしたところでしょうか。しかし、高校入試が少しずつ近づいてきています。三者面談などを通して目標を見据え、計画的に取り組んでほしいと思います。学習発表会が終わった今、1・2年生も毎日の勉強を充実させてほしいと思います。

長崎県教育委員会発行の「長崎県の大人として考えたいこと」と題したプリント（後日配布します）に次のような内容があります。

《高い学力を身につけている子どもの特徴》
◇朝食の摂取や就寝・起床時刻の習慣が身についている。

◇テレビ等の視聴、ゲームをする時間が少ない。
◇家庭学習の時間が多い子どもは学力が高い。
これを讀んで、皆さんはどう思われましたか？あまのじやくの私は、次のように考えてみました。

- ・「朝」飯を食べさえすれば頭がよくなる？」
- ・「テレビを見なかっただけで成績が上がる？」

・「家で勉強すれば、学校では適当でも学力がアップ？」

何年前か前、テレビで「バナナダイエット」が紹介されると、近くのスーパーからバナナが売り切れたことがあります。私たちはテレビの影響を受けやすく、「バナナを何回か食べるだけでやせられる」と思ってしまった。バナナは甘いのですが、現実はその甘くありません。しばらくするとバナナは売れなくなり、スーパーは平常に戻りました。「○○を飲むだけで○○になる」というコマースャルはよくあります。私たちは樂觀的なのも悪くはないのですが、もう少し事実や科学に基づいて考え、振り回されないようにしなければならぬんじゃないかなと思うこともあります。

学力をつけるのは中学生自身です。自分自身のための学力です。自分で学力をつけようと思わなければ学力はつかないでしょう。「○○さえすれば学力がつく」という特効薬はありません。それがあればもうみんなやってくるはずですが、目の前やるべき課題を頭が痛くなるくらい考えて、頭を鍛えましょう。「学問に王道なし」です。苦勞した分だけ中学生の力になります。頑張りましょう。

県教委のプリント裏面には次のような文もあります。

「家の人と学校での出来事を話している中学生は学力が高い」

「地域や社会で起こっている問題や出来事に關心がある生徒ほど学力が高い」

「学校だより27号」では次のような記事を紹介しました。

ある調査では「さまざまな人と対話をする機

会が多い人ほど、より多くの言葉を知っている。」「対話の相手が友だちだけでなく、年齢差のある先輩・後輩・先生の方が語彙力が高い」という結果だったそうです。

これらを読んでいると、対話のある家庭で育つ子どもは考える習慣が身につく、思考力が付くのだらうなあと思像できます。また、対話があるということとは子どもの話を聞く雰囲気や家の中にあるということだと思います。

小学校と連携して、「メディアアカウントロール」の取組を企画しています。詳細は後日提案しますが、たまにはテレビを消してゆっくり話をするのもいいですね。また、現在、全国的に「読書週間」でもあります。家族で読書タイムはどうでしょうか？図書室には新しい本も入りました。



こんな本も入ってますよ。

